

川崎市民の電気自動車やカーシェアリングに関する意識調査

1. アンケートの概要と目的

電気自動車やカーシェアリングを利用したことのない市民がこれらにどのような印象を持ち、なぜ利用しないのかを明らかにする等、カーシェアリングにおける電気自動車の利用促進等に関する課題を整理することを目的に、川崎市民を対象にアンケート調査を行いました。

表 市民アンケート実施概要

実施日	2020年12月23日(水)~24日(木)
実施方法	国内アンケートパネルを用いたWebアンケート調査
対象者・サンプル数	川崎市に居住する普通免許の保有者(20代~70代)1500名
主な設問項目	(1) 乗用車利用状況に関する項目 (2) 電気自動車に関する項目 (3) カーシェアリングに関する項目 (4) EVカーシェアリングに関する項目 (5) 新型コロナウイルスによる影響に関する項目

2. アンケート結果まとめ

本アンケートを総括したまとめは以下の通りです。

(1) 電気自動車に関する項目

- EVの運転について、未経験者は全体の87%でした(図6)。また、EVの購入を検討したことのない人は全体の88%にものぼりました(商品知っている46%+商品も知らない42%)(図5)。

(2) カーシェアリングに関する項目

- カーシェアリングの利用経験者は全体の9%でしたが、全体の21%は今後利用を検討したいと回答しました(図8)。

(3) EVカーシェアに関する項目

- カーシェアにおけるEV選択については、価格がガソリン車・ハイブリッドカーよりも安い場合に利用する人が全体の36%と最多でした。一方で、全く利用するつもりのない人が24%と一定数存在していることもわかりました(図16)。

(4) 新型コロナウイルスによる影響

- 全体の74%の回答者は運転頻度の変化はありませんでしたが、17%が運転頻度減少、9%が運転頻度増加となりました(図17)。

3. アンケート結果詳細

(1) 乗用車利用状況に関する項目

ア. 車の保有有無

アンケート回答者の車の保有有無の集計結果は図1のとおりです。回答者が車を保有している割合が45%と最も多く、車を保有しておらず、運転もしない人は27%でした。

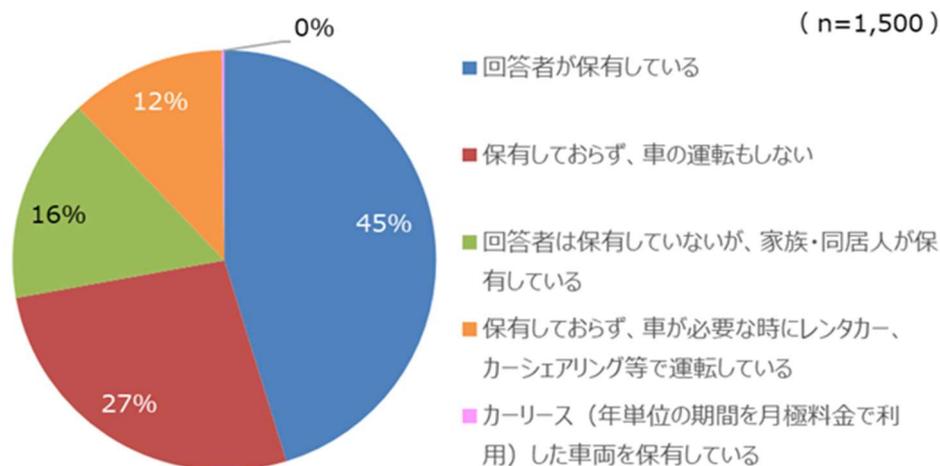


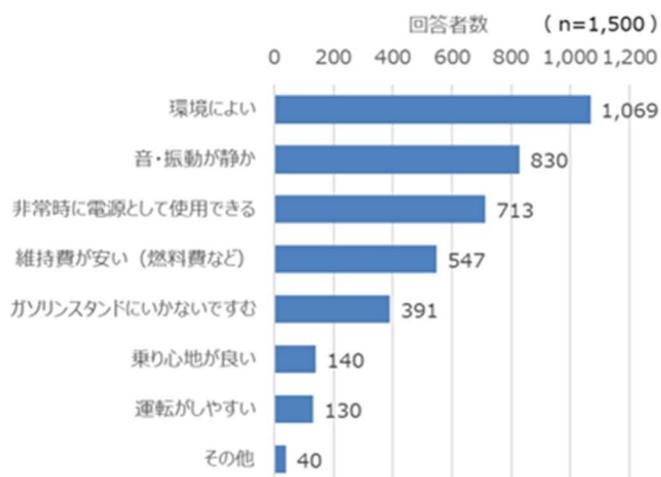
図1 車の保有有無

(2) 電気自動車に関する項目

ア. 電気自動車に対するいいイメージ

アンケート回答者が持つ電気自動車に対する良いイメージの集計結果は図2のとおりです。複数回答では、「環境にいい」が1,069名と最も多く、次いで、「音・振動が静か」が830名でした。単一回答でも「環境にいい」が44%と最も多い結果となりました。

■あてはまるもの上位3つ（複数回答）



■最もあてはまるもの（単一回答）

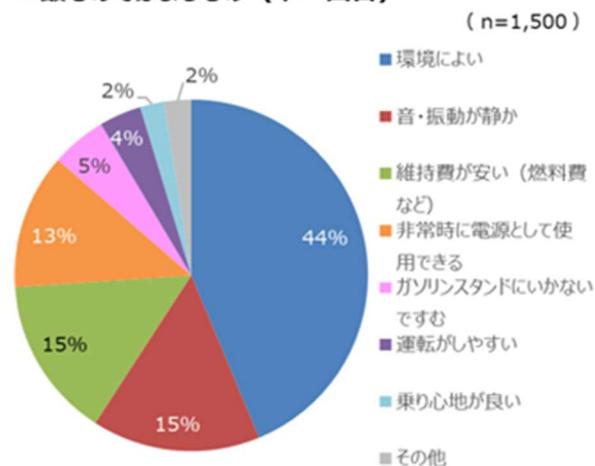


図2 電気自動車に対する良いイメージ

イ. 電気自動車の導入が進まないと考える理由

アンケート回答者の電気自動車の導入が進まないと考える理由（複数回答）の集計結果は図3のとおりです。また、電気自動車の導入が進まない最たる理由の集計結果は図4のとおりです。複数回答では、「初期費用が高い」が855名と最も多く、次いで「連続走行距離（一充電走行距離）に不安がある」が707名となりました。主なその他の回答は以下のとおりです。

- ・まだ、自動運転になってないこと
- ・音が静かで周囲に気づかれず危険
- ・寒い地域だとバッテリー消費激しそう
- ・今の車が使えるから
- ・出先での充電時間を利用時間としてカウントされるか分からない
- ・人気車種が無い
- ・停電したら使えなくなる
- ・廃車の時の費用が高い

電気自動車の導入が進まない最たる理由も「初期費用が高い」が22%と最も多い結果となりました。

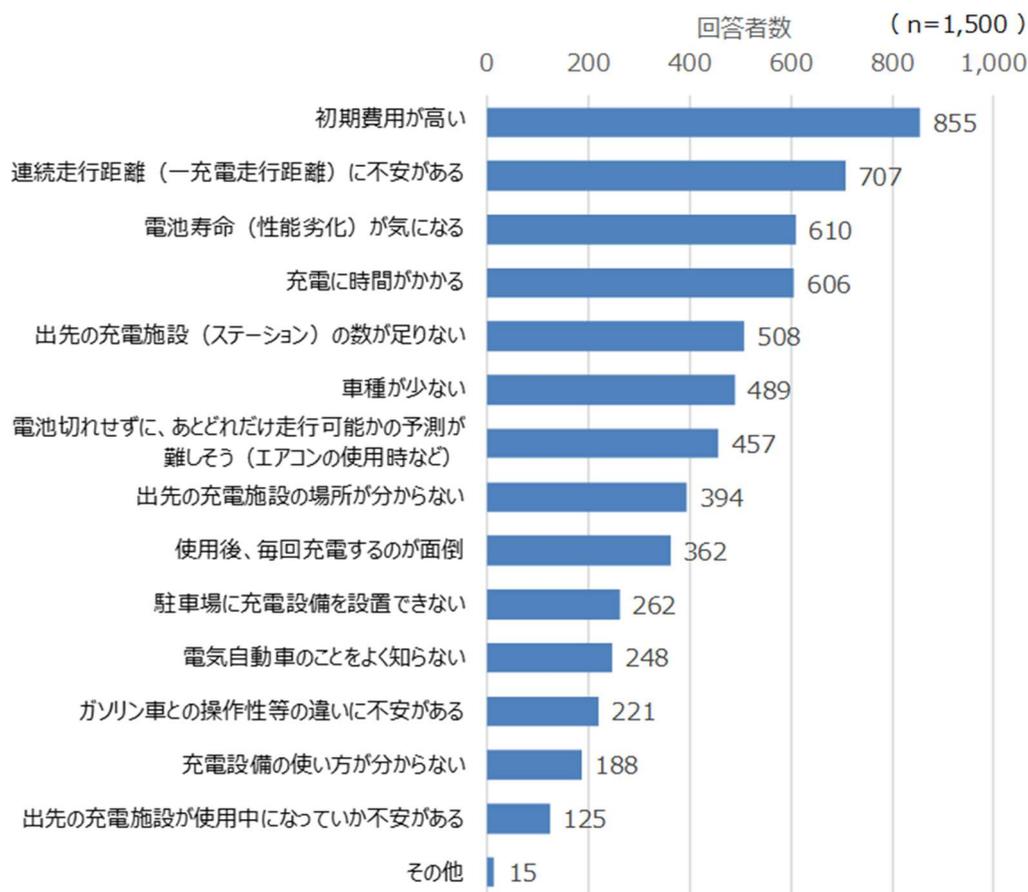


図3 電気自動車の導入が進まない理由（複数回答）

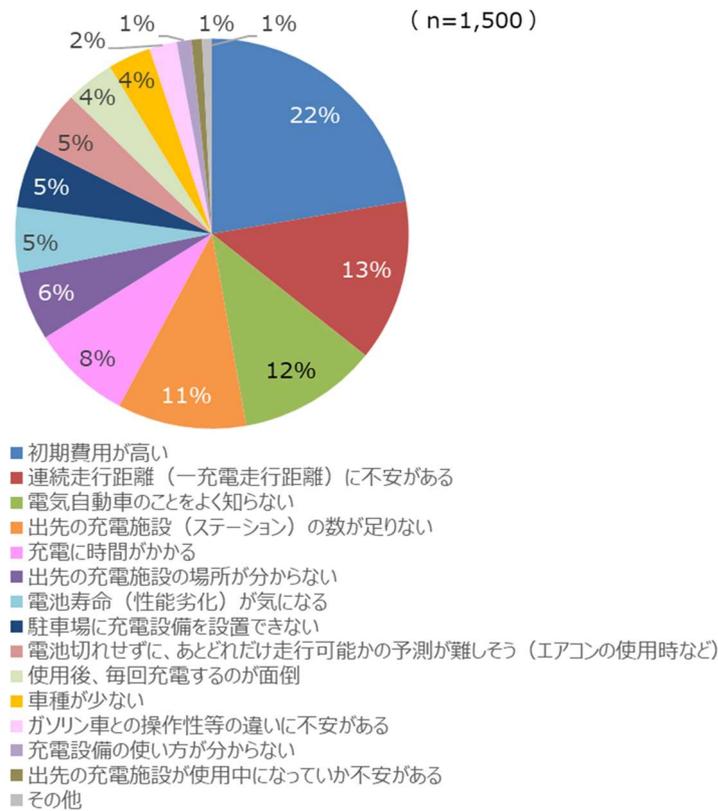


図4 電気自動車の導入が進まない理由（最もあてはまるもの）

ウ. 電気自動車の購入検討有無

アンケート回答者の電気自動車購入検討有無についての集計結果は図5のとおりです。「購入を検討したことはないが、商品は知っている」が46%と最も多い結果となりました。

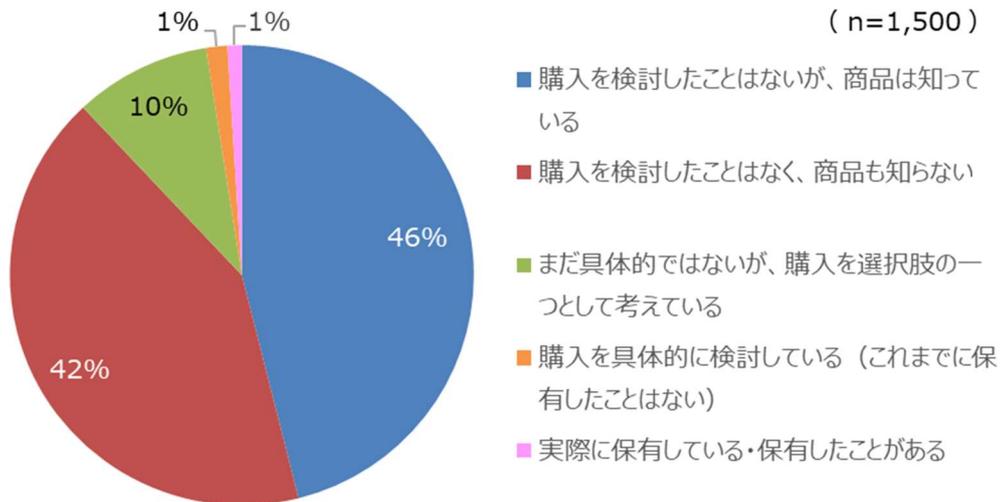


図5 電気自動車の購入検討有無

エ. 電気自動車の運転経験

アンケート回答者の電気自動車の運転経験の集計結果は図6のとおりです。「これまでに電気自動車を運転したことはない」が87%と最も多い結果となりました。

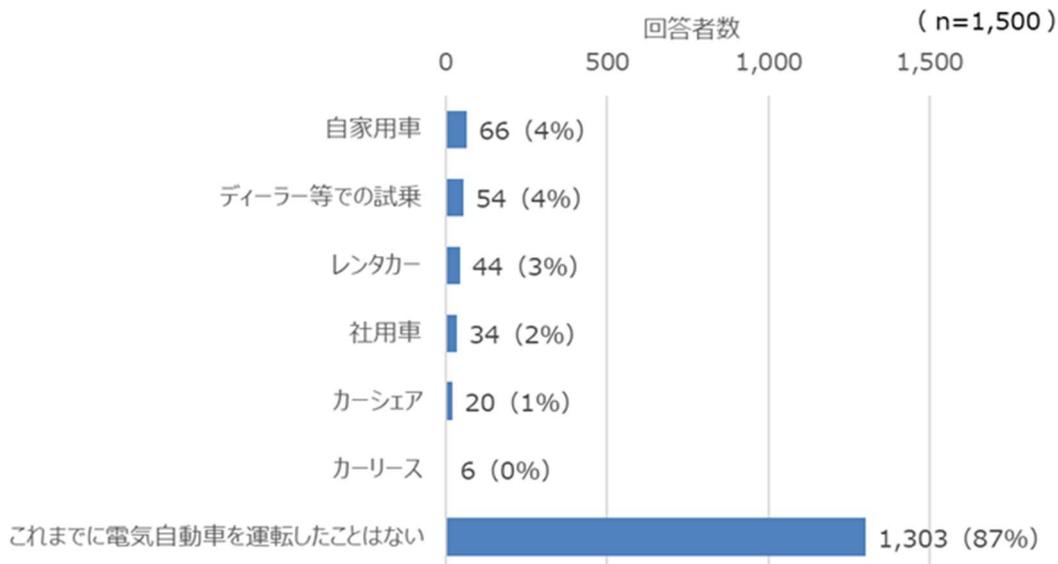


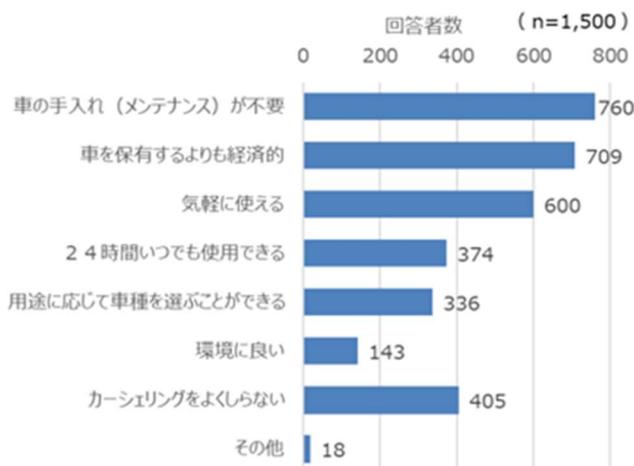
図6 電気自動車の運転経験

(3)カーシェアリングについて

ア. カーシェアリングに対するイメージ

アンケート回答者の持つカーシェアリングに対するイメージの集計結果は図7のとおりです。複数回答では、「車の手入れ（メンテナンス）が不要」が760名と最も多く、次いで「車を保有するより経済的」が709名となりました。カーシェアリングに対するイメージとして最もあてはまるものは、「車を保有するより経済的」が29%と最も多い結果となりました。

■あてはまるものすべて（複数回答）



■最もあてはまるもの（単一回答）

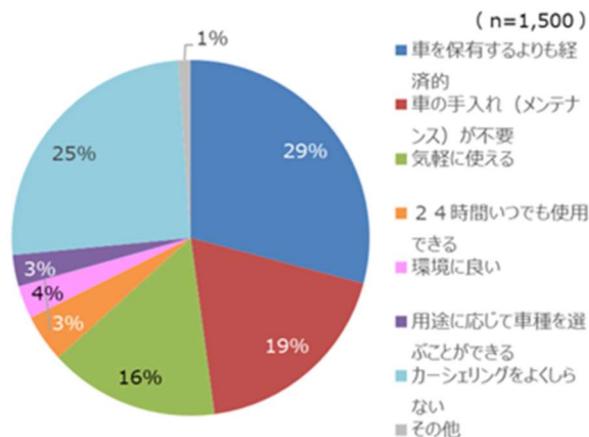


図7 カーシェアリングに対するイメージ

イ. カーシェアリングの利用経験

アンケート回答者のカーシェアリング利用経験の集計結果は図8のとおりです。「利用したことはなく、今後も利用は考えていない」が70%と最も多い結果となりました。

カーシェアリングの利用経験（全回答）

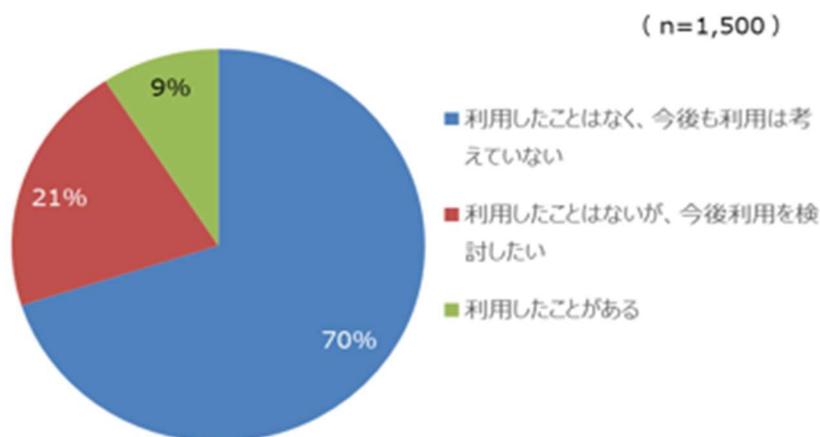


図8 カーシェアリングの利用経験

ウ. 【カーシェア非利用者】カーシェアリングを利用していない理由

アンケート回答者のカーシェアリングを利用していない理由の集計結果は図9のとおりです。複数回答では、「保有する車で十分であるから」が611名と最も多く、次いで「たまにしか使わないのに月極会費を支払う必要があるシステムだから」が268名となりました。代表的なその他の回答は以下のとおりです。

- ・他人との共有が嫌、衛生面が気になる（9名）
- ・新型コロナウイルスの影響で、共用を避けたい（3名）
- ・レンタカーで十分
- ・実家の車を借りるので足りているから
- ・トラブルの時面倒
- ・カスタマイズ出来ない

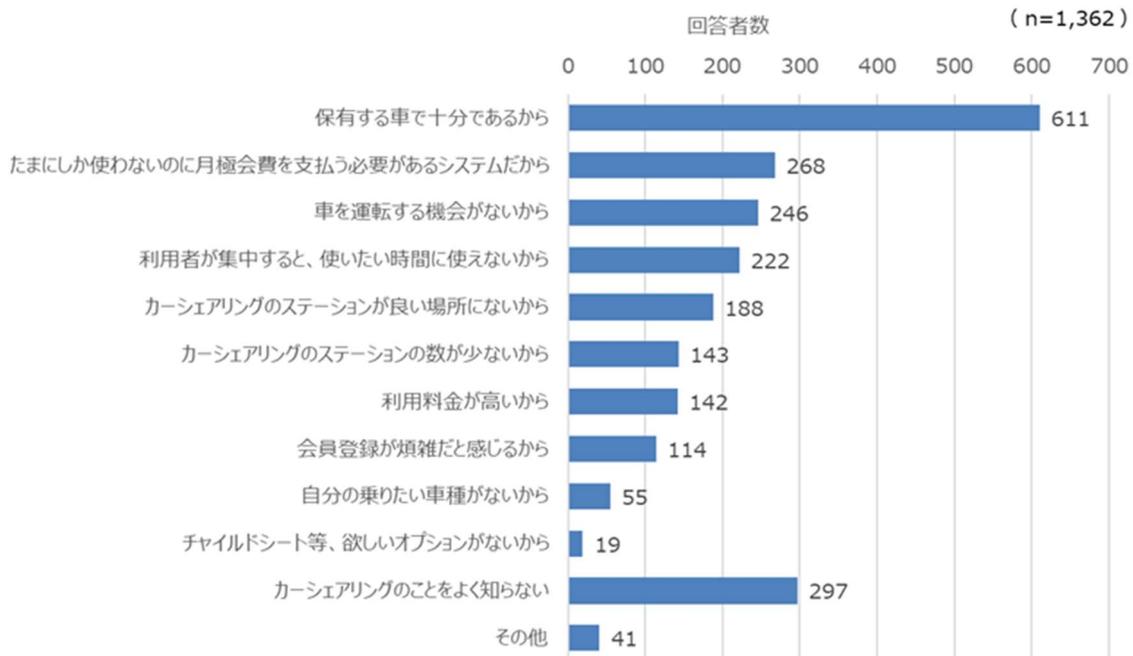


図9 カーシェアリングを利用していない理由

エ. 【カーシェア利用者】カーシェアリングの利用をはじめたきっかけ

アンケート回答者のカーシェアリングの利用をはじめたきっかけの集計結果は図10のとおりです。「近くにステーションができたから」が66名と最も多く、次いで「車を保有するより経済的だから」が57名でした。

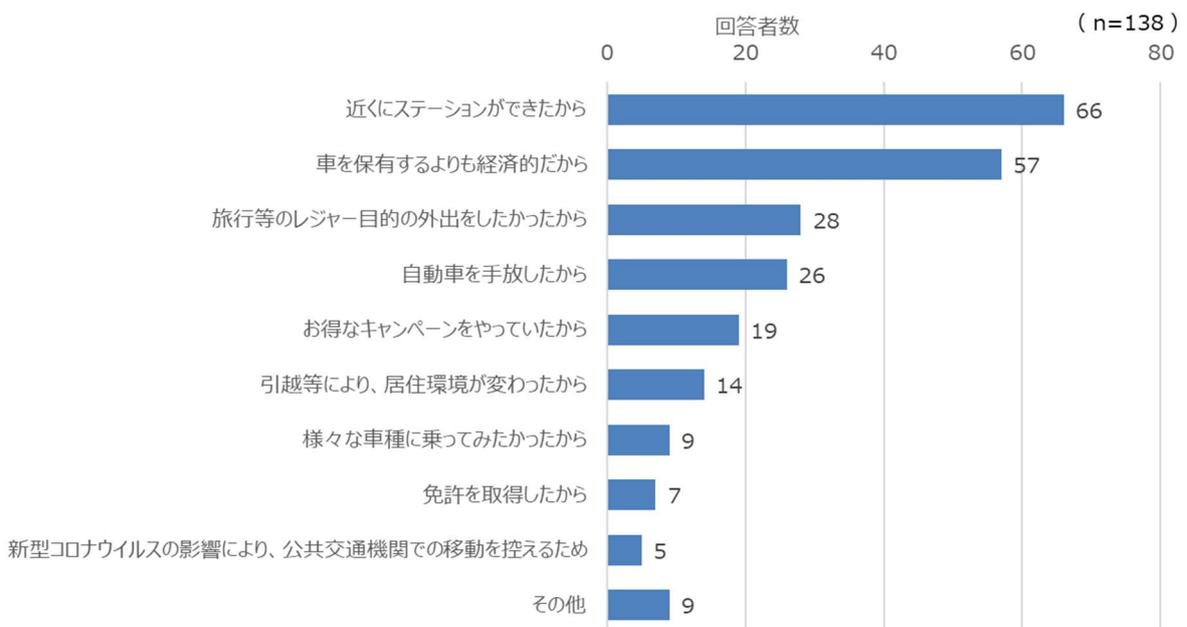


図10 利用をはじめたきっかけ

オ. 【カーシェア利用者】カーシェアリングの課題

アンケート回答者の考えるカーシェアリングの課題の集計結果は図 11 のとおりです。「使いたいタイミングで使える車がない場合があること」が 74 名と最も多く、次いで、「たまにしか使わないのに月極会費を払う必要があること」が 52 名でした。

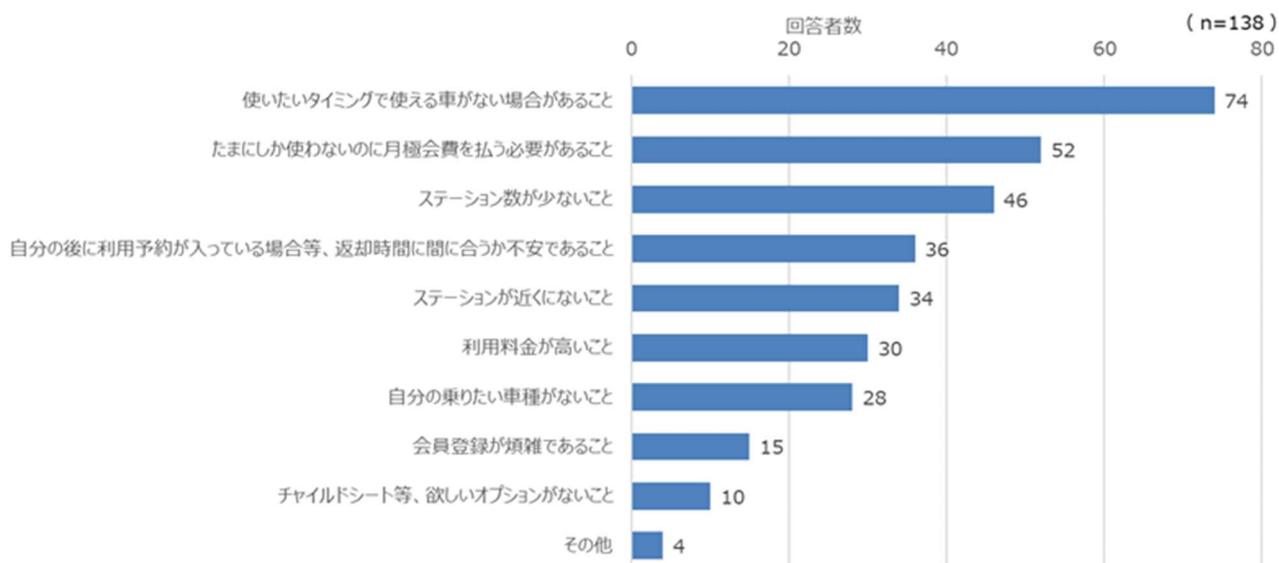


図 11 カーシェアリングの課題

カ. 【カーシェア利用者】カーシェアリングの利用目的・最寄り駅までの交通手段

アンケート回答者のカーシェアリングの利用目的の集計結果は図 12 のとおりです。「日常の買い物・用足しのため」「レジャー等の際の自宅からの移動手段として」がいずれも 66 名と最も多い結果となりました。

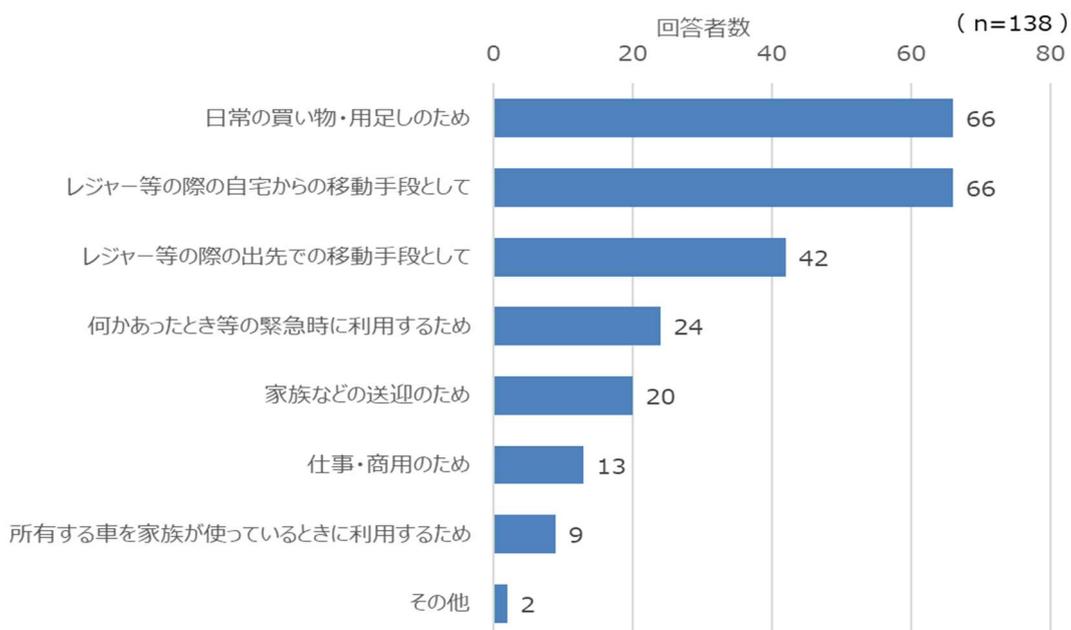


図 12 カーシェアリングの利用目的

キ. カーシェアリングの利用頻度

アンケート回答者のカーシェアリングの利用頻度の集計結果は図13及び図14のとおりです。平日において、「ほぼ利用していない・全く利用していない」が48%と最も多い結果となりました。

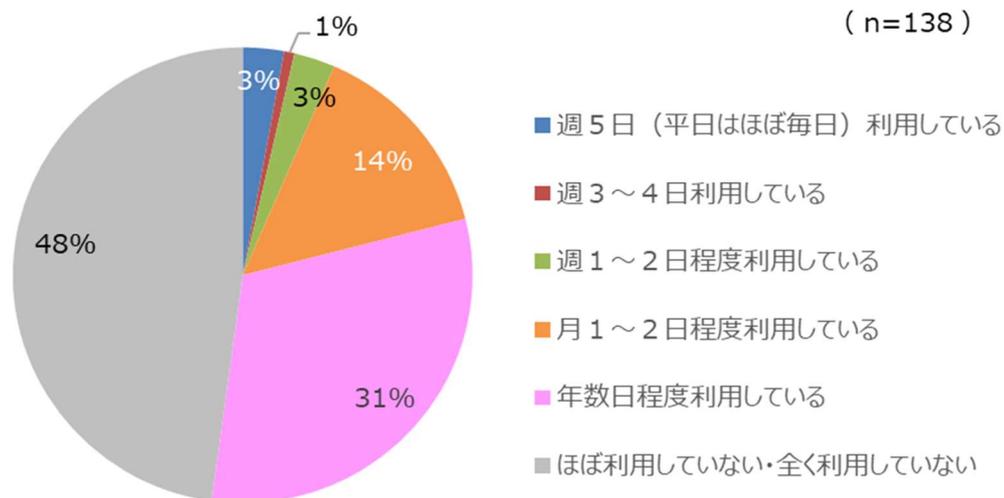


図13 カーシェアリングの利用頻度（平日）

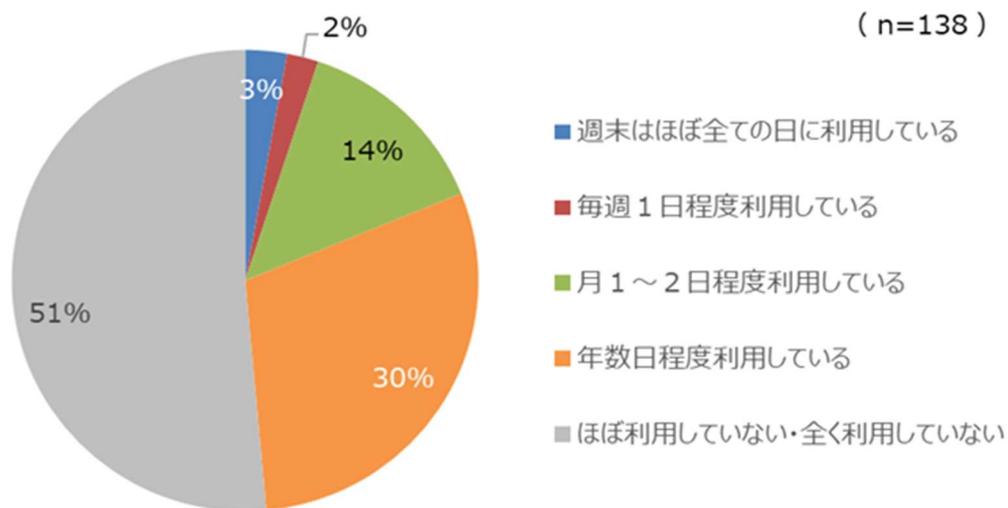
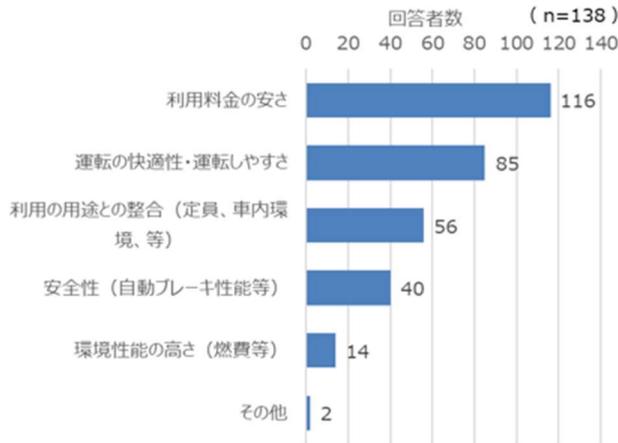


図14 カーシェアリングの利用頻度（土日）

ク. カーシェア利用者が車両を選ぶときに考慮すること

アンケート回答者のカーシェアリングを利用する際、車両を選ぶときに考慮することの集計結果は図 15 のとおりです。利用料金の安さが複数回答で 116 名、単一回答で 56% と最も多い結果となりました。

■あてはまるものすべて（複数回答）



■最もあてはまるもの（単一回答）

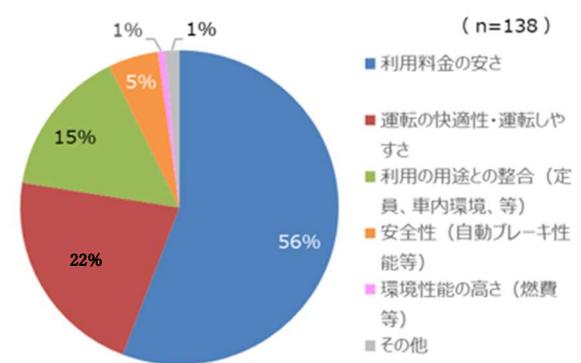


図 15 カーシェア車両を選ぶときに考慮すること

(4)EV カーシェアリングについて

ア. カーシェアリングにおける EV 選択についての考え

アンケート回答者のカーシェアリングにおける EV 選択についての考えの集計結果は図 16 のとおりです。「同じ大きさのガソリン車・ハイブリッドカー等よりも安ければ電気自動車を利用する」が 36% と最も多い結果となりました。

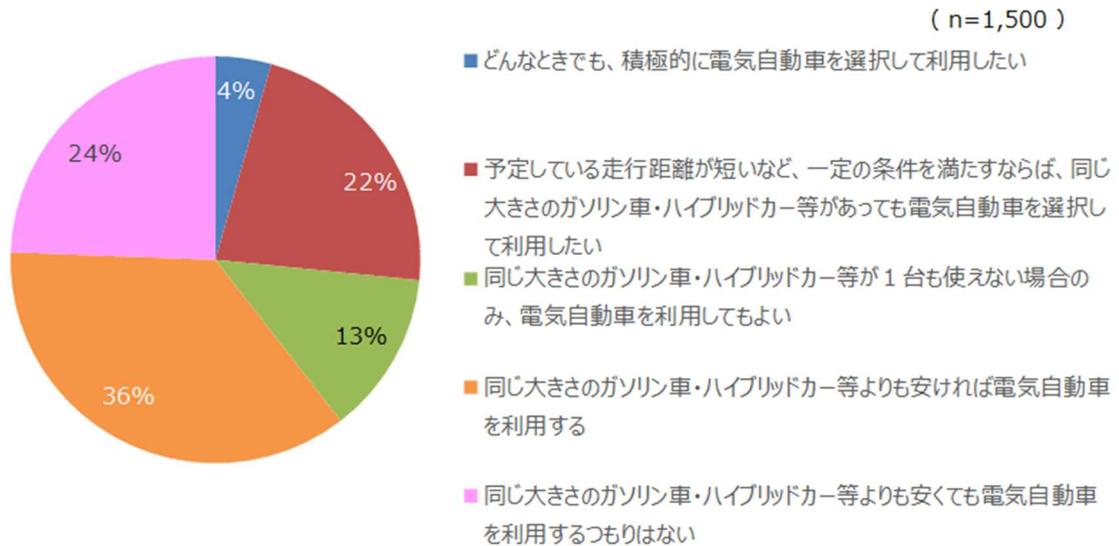


図 16 カーシェアリングにおける EV 選択についての考え

(5) 新型コロナウイルスによる影響に関する項目

ア. 運転頻度の変化

アンケート回答者の昨年と比較した運転頻度の変化の集計結果は図 17 のとおりです。「特に変化はない」が 74%と最も多い結果となりました。

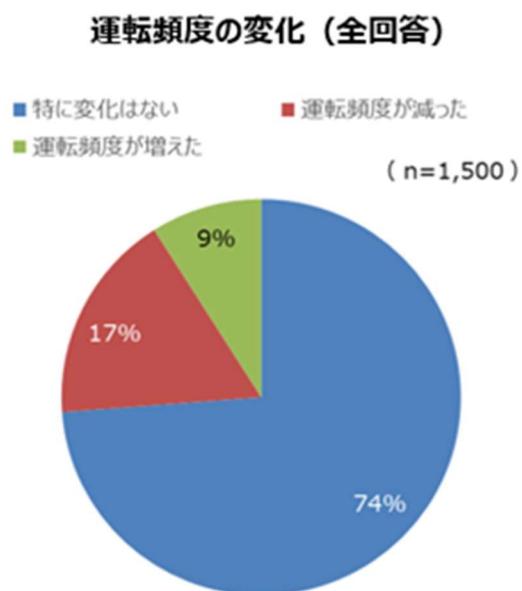


図 17 昨年と比較した運転頻度の変化